

新年明けましておめでとらございませす

旧年中は大変お世話になりました
今年もより以上のお引き立てをよろしく願ひいたします。

猿払ななかまどの会役員一同

2023年元旦



Happy New Year

ななかまど

令和5年1月1日(日)
第54号
一般社団法人
猿 払
ななかまどの会
会 報

希望に満ちた
一年にしましょう。

新型コロナウイルス感染が広がり、国民の誰もが生活に不安を抱いて迎えた昨年は、早々二月にウクライナ戦争が始まりました。ロシアによる一方的な軍事介入は、平和に暮らしていたウクライナ国民を恐怖のどん底に落としました。虐殺も起こりました。「祖国を守る」というウクライナ国民は、欧米諸国の支援も受け反攻攻勢に出ました。ロシアの「短時間で終わる」とした戦争も十ヶ月以上経ち今も続いています。

戦争のおかげで世界の物流網は寸断され、エネルギー分野や食料分野で争奪戦が繰り広げられています。あおりを受け日本でも物価高が進んで

います。原料高騰のため、ななかまどの会でも昨年七月にパンの値上げを実施せざるを得ませんでした。二月にもまた多くの物資の値上げが予定されています。状況によってはまたパンの値上げを実施せざるを得ないかなと考えています

明るい希望は
ないのでしょいか？

サッカーのワールドカップでは森保ジャパンがドイツ・スペインに逆転勝ちしベスト8の希望をいだかせ

ました。日本中が歓喜しました。

今年三月に「ワールドベースボール・クラシック」大会が20カ国の参加で行われます。過去二度優勝している日本は栗山元日本ハムファイターズを監督にし、三度目の優勝を目指します。チームにはメジャーリーグで活躍しているエンジェルスの大谷翔平選手やパドレスのダルビッシュ有選手も参加する予定です。また、昨年四月に完全試合をしたロッチेमリーンの佐々木朗希選手も参加予定です。また、56本のホームランを打ったヤクルトの村上選手も参加します。世界にどれだけ通用するのか、優勝はあるのか今からワクワクします。

その他にも九月には、札幌山の手高校出身のリーチ・マイケルキャプテンが率いるラグビーのワールドカップが開催されます。今年はどうな戦いをするのか楽

しみです。
いよいよ新球場での戦いが
始まります



念願だった新球場が北広島市にオープンします。

「エスコンフィールド北海道」。開幕戦は三月三十日です。

これまでの本拠地であった「札幌ドーム」は、球団の要望を聞いてくれず、地域作り構想が一致した北広島市とタックを組んで新球場を実現しました。元メジャーリーガーの館山選手は「メジャーの球場をたくさん見てきたけどここが世界一」と語っていました。

早く新庄監督率いるファイターズのプレーを新球場で観戦したいと思います。

今年が開村百周年の年



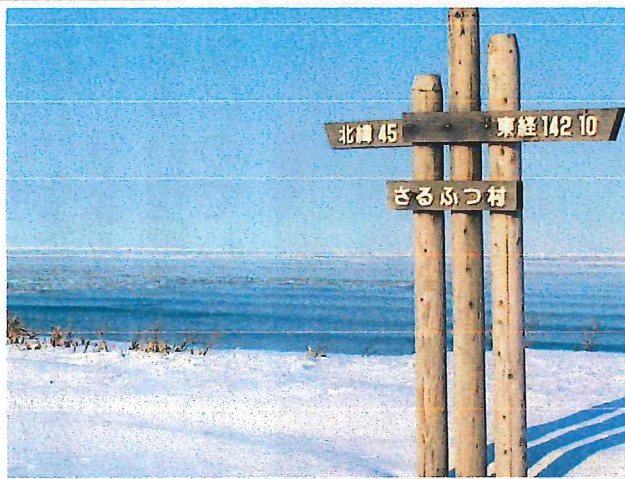
猿払村が生まれて今年で百歳を迎えます。

村民上げてお祝いをする企画が計画されています。

三年実施されていなかっ「観光祭り」も実施の方向に向かっているとか。記念誌も発行するそうです。

村長と組合長の英断で資源を復活させ全国に誇る「ホタテ大国」になった猿払村です。

歴史の重みを受け止め、村民一人一人が心からお祝いできるよう、村民と一緒にやって企画・立案できるように祈っています。



子ども達が誇れる猿払村の姿を、この機会にしっかりと焼き付け、将来にわたって猿払村で活躍したいという気持ちを育てたいものです。

えっ！まだそんな考え方なの？
衝撃的！

昨年暮れとんでもないニュースが飛び込んできました。道南の障がい者施設で、結婚や同棲を希望する知的障がい者に不妊処置を求め、八組十六人が応じていたというものでした。

私はこのニュースを聞いたとき「ハンセン病患者」が九十年にも渡って受けてきた「人権侵害」と根を一緒にすると感じました。

「ハンセン病患者」はさほど強い感染力でなかったにもかかわらず、強制隔離をされ、地域から切り離され、劣悪な環境での生活を余儀なくされました。結婚するものには「断種、墮胎」が条件となっていました。今回の事件はまさに「断種」です。

社会の進歩に政治・行政が追いついていないと痛切に感じました。